

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公表番号】特表 2019-526653 (P2019-526653A)  
 【公表日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-038  
 【出願番号】特願 2019-500280 (P2019-500280)  
 【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)  
 H 0 1 L 31/048 (2014.01)  
 H 0 1 L 31/05 (2014.01)  
 H 0 1 L 31/054 (2014.01)  
 C 0 9 J 123/04 (2006.01)  
 C 0 9 J 131/04 (2006.01)  
 C 0 9 J 7/10 (2018.01)  
 C 0 9 J 7/35 (2018.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00  
 H 0 1 L 31/04 5 6 0  
 H 0 1 L 31/04 5 7 0  
 H 0 1 L 31/04 6 2 0  
 C 0 9 J 123/04  
 C 0 9 J 131/04  
 C 0 9 J 7/10  
 C 0 9 J 7/35

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 29 日 (2020.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光方向転換フィルムと、

前記光方向転換フィルムに直接隣接している接着剤層と、を含み、

前記接着剤層は、100 での動的剪断応力が  $20\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2$  超であり、剥離接着力値が  $125\text{ g} / (1/2\text{ inch})$  超である接着剤を含む、光方向転換物品。

【請求項 2】

前記接着剤は、100 での動的剪断応力が  $35\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2 \sim 125\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2$  であり、剥離接着力値が  $125\text{ g} / (1/2\text{ inch}) \sim 1500\text{ g} / (1/2\text{ inch})$  である、請求項 1 に記載の光方向転換物品。

【請求項 3】

前記接着剤は、紫外線で硬化されたエチレンビニルアセテート接着剤組成物である、請求項 1 に記載の光方向転換物品。

【請求項 4】

前記光方向転換フィルムは、ベース層と、前記ベース層から突出する規則的に配置され

た複数の微細構造と、前記ベース層の反対側で前記微細構造に直接隣接している反射層と、を含む、請求項 3 に記載の光方向転換物品。

【請求項 5】

少なくとも 1 つのダビングリボンを含む少なくとも 1 つの光電池と、  
請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の光方向転換物品と、を備える、光起電力モジュールであって、

前記光方向転換物品は、前記少なくとも 1 つのダビングリボン上にあり、前記ダビングリボンに関して 1 mm 以下の平均ドリフトを有する、光起電力モジュール。

【請求項 6】

前記平均ドリフトは、0 . 5 mm 以下である、請求項 5 に記載の光起電力モジュール。

【請求項 7】

前記光方向転換物品は、光電池を含まない少なくとも 1 つの領域上にある、請求項 5 に記載の光起電力モジュール。